

CASBEE®-建築(新築)2021年SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人朗源会 おおくま病院	階数	地上6階
建設地	兵庫県尼崎市昭和通2丁目67-25.6	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域、第4種高	平均居住人員	268 人
地域区分	6地域	年間使用時間	876 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2024年7月 竣工	評価の実施日	2024年7月1日
敷地面積	1,263 m ²	作成者	株式会社環境空間設備 宮崎 彰子
建築面積	961 m ²	確認日	2024年7月1日
延床面積	4,927 m ²	確認者	清水建設株式会社関西西支店 一級建築士事務所 小原 博之

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.6**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 阪神南地区を中心に地域医療に貢献する病院の移転新築工事を計画。環境や景観への配慮を行うとともに、災害時のBCP対応を行う省エネ型病院。特にバリアフリー法の認定申請を取得し、利用する患者や職員に基準を上回る最大限配慮をした建物とした。		その他 医療施設としてアメニティや機能性を高めるために、建築基準法を上回る廊下・階段幅や広いトイレを設置し、建築基準法52条許可を取得。
Q1 室内環境 外来や病室においては窓からの昼光を十分に取り入れ、光環境向上を行った。国道2号線沿いの立地性を考慮し騒音・振動の影響がないよう配慮した。また敷地内を禁煙とする事で、非喫煙者が副流煙に晒されないよう配	Q2 サービス性能 国道沿いに自動車の寄付きを設け、雨に濡れないアプローチしやすいエントランス空間とした。外来は広く明るい吹抜のあるホールとし、患者と職員のコミュニケーションに配慮し快適でアメニティの高い空間とした。院	Q3 室外環境(敷地内) 尼崎市が重視する(景観審査会受信)街並み景観の向上を目指し、意匠形態と色調の配慮を行うとともに沿道緑化のみならず、可能な限り敷地内に植栽を配し、屋外環境の快適性の向上を図った。必要な駐輪場を確保し、敷
LR1 エネルギー 外壁や屋上躯体への断熱性能の高め、窓ガラスはLOW-Eペアガラスを採用するなど建材使用による省エネルギー化に配慮した。LED照明+人感センサーを採用した。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具採用にて水資源の保護、非再生性資源の使用量の削減、汚染物質含有材料の使用量削減による環境負荷低減を図る。廃棄物の適切な処理を実施するとともに、有害物質を含まない材料を使用する。	LR3 敷地外環境 建物エネルギー消費量削減によりLCCO2を低減させる。また光害抑制から周辺への環境負荷抑制を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される